



発行所
自由民主党本部
郵便番号100-8910
東京都千代田区永田町1-1-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
振替口座 東京00080-4-49558
定価 1部105円(税込)
(毎週火曜日発行)

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

自由民主

LIBERAL & DEMOCRATIC

号 外

自由民主党青森県第2選挙区支部
〒034-0031 十和田市東三番町137-7
TEL.0176(24)3844



江渡あきのり
プロフィール

(昭和59年～平成7年) 光星学院八戸短期大学講師
(昭和59年) 特別養護老人ホーム一葉園 主任生活指導員
(昭和60年) 児童養護施設おけの学園 園長
(昭和62年) 知的障害者更生施設一部園 園長
平成8年～平成12年(6月) 衆議院議員(一期)
平成14年～現在 社会福祉法人至誠会 理事長

語る 江渡あきのりさん

自由民主党青森県第2選挙区支部長

自民党総裁選での小泉総裁の再選を受け、十月衆議院解散、十月総選挙の流れが強まりつつある。江渡聡徳さんにとって、国政への復活を賭けた決戦の時がいよいよ訪れる。二〇〇三年六月の前回衆院選から三年が過ぎた。くまなく選挙区内を歩き、有権者とのふれあいを続け、江渡さんは長引く不況に苦しむ中小企業者や、将来への不安におびえる高齢者の思いを込めたよりも強く感じている「県民の声を国に届け、政策に反映させたい」。使命感に燃える江渡さんには、郷土に対する熱い思いを聞いた。

夢を地域に。 郷土の未来をみつめよう

いよいよ衆議院選挙という雰囲気になってきました。

「前回衆議院選挙での苦い経験から三年余りがたちました。この間、お世話になった皆様へのあいさつ回りを通じ、景気を良くしてほしい」「老後の不安を取り除いてほしい」という心からの訴えも、日も欠かさずうかがってました。苦しい三年間でしたが、自分が何かに足りなかったか、また国政の場で自分が何をなすべきかが、より鮮明に見えてきたと思います。」

「どんなことを掲げて地元有権者に訴えますか。」

「柱は三つ。医療・福祉の充実、農林漁業の振興、教育改革です。私は農林それぞれについて、ただのスロウガンで終わらせず、具体的に何を指すか、有権者の皆様にお示しします。それが、政権政党である自民党に所属する者の務めだと思っています。」

「まず、医療・福祉の充実について、どう取り組みますか。」

「少子化対策の観点から、周産期医療の充実、未就学児童の医療費無料化を目指します。また、保育所が受け入れ可能な児童数を増やし、待機児童ゼロを目指します。各市町村と密接に協力し、自治体・地域住民、企業が協力となった子育てサポートの実現に取り組みます。」

「実現すればうれしいことです。が、おさがかりではないですか。」

「その通りです。予算を確保しなければなりません。私は、一つの方法で、十分な医療・福祉向け予算を確保したいと考えています。一つは、国から地方への財源委譲です。財源が地方自治体に移れば、何にお金をかけるかを自分



で選べる。伸ばしたい分野に重点的に予算を割くことができれば、公共事業についても地方の視点が必要。必要の選択ができるわけです。実現すれば、特徴ある地域作りが可能になります。」

「もう一つの方法とは何ですか。」

「雇用拡大、地方経済の好転による税収増です。これについて、皆さんに提案したいことがあります。放射線によるガン治療の機械「シンクロト」を選挙区内の医療施設に備えることです。この機械は、初期・中期のガン患者なら、一週間はどの放射線照射だけで手術なしで治療できることが多く、という画期的な装置なので、が、東北には、患者さんには、週間程度滞在して治療されるわけですから、様々な雇用創出が見込めますし、医療先進地域というイメージも獲得できます。」

「例ですが、これから市場が大きくなる介護、医療といった分野を、雇用の拡大と運動させることが大事なんです。」

「地方経済の好転には、さらに幅広い施策が必要ではないですか。」
「ええ、そうですね。一つは、林業の振興に話を移します。内閣府は七月、新たな食品安全委員会

『自由民主』を定期購読しましょう。



・**エト**メンはやりです。



——最後に、教育改革についてつかがいます。
「細かい指導が可能な少人数学級の実現は言うまでもありませんが、私はその前提となる、教員の資質に目を向けたいと考えています。高校の先生

を充足させ、食に関する産業の育成と、産地や商品表示の偽装など各種違反の予防や摘発の態勢を強化しました。これは政府が、従来の流通業者・生産者重視から、消費者重視に政策を転換したというところで、私はこの政策転換を、豊富な農林漁業資源に恵まれた青森県にとって、大きなチャンスだと考えています。魚や野菜など様々な農産物について、だれがとど生産水揚げしたのが一目でわかるような体制を作り、付加価値の高い青森ブランドを創造したいと考えています。必ず、県産品の消費拡大、販路の拡大につながるはずで。」

が、高校の受験問題が解けないという信じられない現実がある以上、教師の知識・人格をしっかりと調査し、必要なら再トレーニングを施し、子供たちを教えるべくのにふさわしい人材に育てることが必要です。まずこれから手をつけたいと思います。」

——先の知事選で、自民党は三村さんを推薦し勝利しました。ですが、今回立候補した方々の顔ぶれをもう一度思い出し、欲しいのです。行政経験もあり、国とのパイプもある三村さんが二番知事にふさわしいことは明らかです。その三村さんが過去のしがらみを乗り越えて、自民党とともに新しい青森を作ろうというのですから、私も、良きライバル関係だっ過去を乗り越え、「一生懸命応援したいのです。今後三村さんとともに、すばらしい郷土作りに努力するつもりです。」

- 顔の見える「青森ブランド」確立
- 農林漁業の足腰強化



② 農林漁業の振興

- 「あんしん小児医療」を実現します。
- 「あんしん子育て」を実現します。
- 「最新がん治療設備」を誘致します。



① 医療・福祉の充実

- 情報公開で学校をレベルアップ
- 学校、地域、家庭の複合教育の実現



③ 教育改革

えと
江渡あきのりさん
3つの約束



- 江渡あきのり**さんは郷土の未来を創ります。
- 東北縦貫自動車道八戸線 下北縦貫道路の早期完成
 - 東北新幹線八戸以北早期完成
 - 三田川（国際熱核融合実験炉）誘致**

お気軽にお立ち寄り下さい。

江渡あきのり後援会事務所

〒034-0003 十和田市元町東3-3
TEL.0176-21-3280 FAX.0176-21-3281

『自由民主』を定期購読しましょう。